

広報 さかい

いつも話してるから
ちゃんと覚えたよ。

地震が起きたら
ここに避難するんだぞ。

CONTENTS

銘肌鏤骨 3・11 東日本大震災
忘れてはいけない目がある

... 2

2014
February

2

平成 26 年

No.95

言葉では言い表せない災害



震災当時の
塩竈市危機管理監
さとう ゆういち
佐藤 雄一 さん

今 まで経験したことのない大きな地鳴りと長く激しい揺れは、私たちの想定をはるかに上回るものでした。塩竈市を襲った大津波の高さは本土で4メートル、離島の浦戸地区で8メートルを超えました。47人の尊い命が奪われ、家屋は5,565棟が全半壊。避難所や民間施設などに9,000人が避難しました。

当 日は、多くの市民が市役所の本庁舎に避難しましたが、収容ス



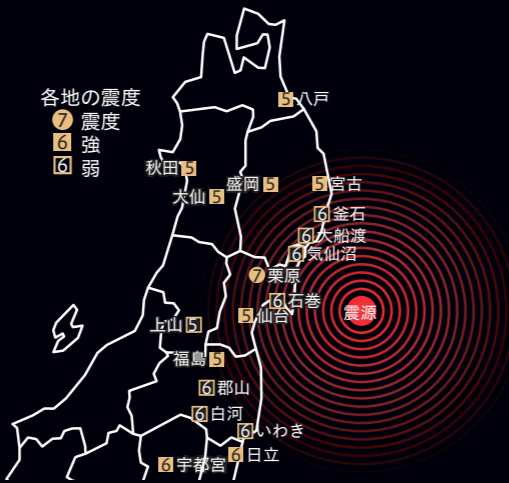
▲津波後の塩竈市内

ペースが足りない上に、停電で暖房が使えません。職員と一緒に寒さに震えながら、床に段ボールを敷いて一晩を過ごしました。指定避難所には4,200人分の食糧を備蓄していましたが、避難者が多く十分ではありません。関西方面からおにぎりなどの支援物資が届いたのは、震災から3日後のことでした。

震 災後は、情報の収集や飲食料・毛布の確保、円滑な避難所運営に奔走しました。町内会長をはじめ、諸団体のリーダーなどにご協力いただき、なんとか当面の危機を乗り越えることができました。まさに薄氷を踏むような戦いでした。

現 在は「長い間住み慣れた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように」という基本理念を掲げ、自助・共助・公助の観点から防災計画の見直しに着手しています。単に震災前の姿に戻す「復旧」ではなく、教訓を将来の安全・安心に結びつけ、より快適で活力のあるまちへの「復興」に向けて進んでいます。

■東日本大震災震度一覧



■東日本大震災被害状況

被害内容	被害数
死者	15,883人
行方不明者	2,643人
重軽傷者	6,150人
全壊(全焼・流出)家屋	126,810棟
半壊家屋	272,738棟
浸水	13,570棟

※国土交通省 東日本大震災 第125報
(平成25年12月10日現在)より



地震と津波に襲われた宮城県塩竈市の様子(平成23年3月14日撮影)

●特集●

銘肌鏤骨

【めいぎんこつ】(四熟) 忘れないように心に深く刻むこと

3・11 東日本大震災 忘れてはいけない日がある

平成23年3月11日 14時46分
東北地方太平洋沖地震が発生しました。突然襲った地震と大津波は、人々の日常や小さな幸せをあっという間に飲み込んでいきました。

「想定外」を経験し、日本各地では防災・減災の取り組みが活発化しました。しかし、時間の経過とともにあの惨事への記憶が薄れてきてはいませんか。得た教訓を忘れずに生かしていくためにも、被災地の今を知り、もう一度「あの日」を思い返してください。

日本観測史上最大の大地震

宮城県三陸沖を震源とした東北地方太平洋沖地震。地震のエネルギーを表すマグニチュードは、日本観測史上最大の9.0(平成7

ただでなく、「想定外」ともいえる大津波を引き起こしました。津波の高さは9.3メートル以上。地震から何とか生き延びた人やまを無情にも飲み込んでいきました。津波が去った後、水道、電気、ガス、通信、交通機関などのライフラインが寸断され、苦しい避難生活が始まりました。

被災地に学ぶ防災

震災直後から、被災地には全国から多くの支援が寄せられました。本市からも救援物資や人的支援が行われ、現在も宮城県塩竈市に職員を派遣しています。まちや生活の復興にはまだまだ

地震の用語

【マグニチュード】地震が発するエネルギーの大きさを示した数値。マグニチュードが1増えるとエネルギーは約32倍、2増えると約1,000倍になる。

【震度】ある地点における地震の揺れの大きさを示した数値。現在は震度0～7(震度5と6については強弱の2段階で観測)の10段階に分かれている。

多くの時間と支援が必要です。しかし、少しずつ笑顔も戻りつつあります。被災しながらも強く生きる彼らから、私たちが学ばなくてはならないこと——今一度、被災地を思い、防災への意識を高めましょう。

小西主事のとある一日

時	スケジュール	税務課での主な業務
8	出勤 ミーティング	土地・家屋などの固定資産税を担当。
9	打ち合わせ資料の作成	小西主事の経歴 平成22年度に坂井市役所に入庁し、課税課へ配属される。1・2年目は主に、固定資産税の中でも家屋を担当。3年目は主に土地を担当し、土地評価額の算定や地目認定などを行う。
10	他課との打ち合わせなど	
11	お昼休み	確定申告の時期には申告相談なども受け付ける。
12	市内現地調査	平成25年4月から1年間、税務担当者が不足していた塩竈市に派遣を志願。適正な課税が行われるよう、日々業務にあたっている。
13		
14		
15	調査結果整理・計算	
16		
17	次回調査資料作成	
18		
19	帰宅	
20		

確定申告の時期には申告相談なども受け付ける。平成25年4月から1年間、税務担当者が不足していた塩竈市に派遣を志願。適正な課税が行われるよう、日々業務にあたっている。



塩竈市税務課に勤務する
小西 和之 主事

Hope

皆さん、こんにちは。復興のお手伝いをするために坂井市から宮城県塩竈市に派遣されている小西です。塩竈市での業務についてご紹介します。

学校と保護者、地域の連携を確認 全市民対象に総合防災訓練

平成25年6月9日(日)

東

日本大震災の教訓を基に、塩竈市では「県民防災の日」に合わせて、全市民を対象の総合防災訓練を行いました。

午前9時に震度6強の地震が発生し大津波警報が発表された想定。防災行政無線のサイレンを合図に訓練を開始しました。昨年と同様、市内に14カ所あるすべての指定避難所を開設し、「避難所開設運営訓練」を実施しました。

今年度の訓練の特徴は、市内の小中学校を「登校日」とした点。子どもたちが



▲濃煙体験をする子どもたち



▲消防士からけが人の応急手当法などを学ぶ住民たち

学校にいる時間帯に震災が発生した場合でも、町内会や自主防災組織と学校が連携して、迅速かつ正確に保護者に児童を引き渡す訓練を行いました。

メイン会場の杉の小学校では、避難後に自分たちで生活していけるように、炊き出し訓練や搬送訓練、給水訓練、濃煙体験などを行いました。

今年の訓練には、市内全体で約8,300人が参加しました。塩竈市ではこの訓練で見えた課題などを踏まえ、関係機関と一層の連携を図りながら、防災・減災対策に取り組んでいます。

立ち上がれ — 震災からの一歩 —

Step by Step

「あのとき、自分たちは何ができなかったのか」——。塩竈市では毎年、“想定外”に対応するための訓練を行っています。災害に強いまちづくりも、少しずつ進んでいます。



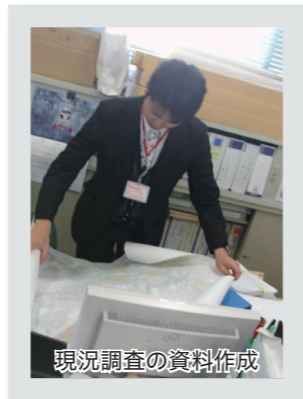
交通手段は車

道路などの復旧が進み、今ではほとんどが震災前と同じように移動できます。



上司と市内現況調査

2人1組になって、土地の状況などをすべて確認していきます。



現況調査の資料作成

災害公営住宅や防潮堤の用地買収、災害公営住宅の家賃算出のための評価額などを作成します。復興推進局などのすり合わせを行うほか、被害地域の次年度以降の課税の見通し・減収見込みなどを市長、議会に報告します。



土地の現況を実際に確認

震災で地面そのものが移動し、土地の面積が変わったところもあります。それを正確に把握し、適正に課税するために再測量などを行います。また、移転のための宅地造成が活発で、慎重かつ丁寧な評価を心掛けています。



天気は良くても寒い

晴れていても気温は低いです。震災直後は、雪が降るなど厳しい気象条件が重なったと聞きます。



【浮桟橋の完成】津波で流失した寒風沢島の浮桟橋を再建。この桟橋のおかげで、住民の足である市営汽船に安全に乗り降りできています。



【魚市場仮設荷さばき所】基幹産業の一つ、水産業の拠点である魚市場の建て替えのため、仮設荷さばき所を整備。平成27年度の完成を目指します。



【災害公営住宅見学会】塩竈市で最初に完成した災害公営住宅の見学会が平成25年12月に行われ、住宅を失った多くの人が見学に訪れました。



【移転先団地の盛土を搬入】高台への集団移転団地造成のため、盛土を搬入。津波の危険が高い災害危険区域に指定された人たちが、移転する予定です。



【道路かさ上げ工事】地盤沈下がひどい地区では、台風や高潮などでも冠水被害が。この地区では、側溝の高さ(約60cm)まで、道路のかさ上げ工事を行います。



【完成した災害公営住宅】高台に位置する伊保石地区では、家族数が多い人などが対象の戸建タイプ災害公営住宅が31戸完成。2月1日に入居式を行いました。

【取材協力・写真提供】宮城県塩竈市

今一度「あの日」を思い返し、
防災を心に刻みましよう。
身近にいる誰にも悲しい思い
をさせないためにも。

被災地を見た小西主事、倉矢
主査は口をそろえます。
「被災した人たちにとって、
震災は終わっていない。今も
その中で生活している」と。
そして、その災害は私たちの
身近で起きるかもしれません。
防災の基本は、自分の命は自
分で守ること。
支援が行き届くまでをいかに
生き延びるかが大切です。
そのために、家族や地域で災
害を考え、お互いの行動と役
割を話し合ってください。

自然は私たちに多くの恵みと
感動を与えてくれます。
しかし、時には牙を剥くとい
うことも忘れてはいけません。

被災地を見た小西主事、倉矢
主査は口をそろえます。

被災した人たちにとって、
震災は終わっていない。今も
その中で生活している」と。

そして、その災害は私たちの
身近で起きるかもしれません。

水面に夕陽が映え、穏やかな表情を見せる日本海(東尋坊)。
この平和な日常が、ずっとずっと続きますように。

Voice

被災地派遣の経験から感じたこと



支えてくれる家族や友人に改めて感謝したいと話す
小西 和之 主事

帰る場所がある幸せ
望まない形で慣れ親しんだ土地を離れる人がいます。二度と故郷に帰れない人もいます。安心して暮らせる場所は、実は素晴らしいものだと気付かされました。時間が経ち、被災地でさえ防災意識の低下が危惧されます。震災の記憶は決して風化させてはいけません。

想像以上の避難所生活
被災した人たちの避難所生活は、仮設住宅ができるなど居住のめどが立つまで続きます。福島市では、多くの人が1カ月以上も避難所で生活しました。今後は長期間の生活を想定した準備も必要だと感じました。また、あちこちから一カ所に避難してくるとなれ、



平成24年5月から7月まで被災地支援で福島県福島市に派遣
倉矢 徹 主査

震災前より元気なまちに
災害公営住宅や防潮堤が完成しても、復興は終わりではありません。震災前より活気あるまちを目指して、頑張っています。それを支えているのは地元や全国の人たちとの絆。被災地に来て、その大切さを改めて感じ、普段から感謝の気持ちを持つようになりました。

ば、見ず知らずの人と生活することになります。坂井市も、災害によっては越前市など3市町からの避難先になります。混乱を防ぐためには、こうした事態への対応も考えていかななくてはいけないと思います。マニュアルに縛られない

災害には想定外が付きものです。マニュアルは大切ですが、それだけですべてを解決できません。マニュアルを踏まえ、自分たちで考えて行動することが何より大切ではないでしょうか。
(倉)

坂井市の防災への取り組み

Action

東日本大震災を受け、坂井市でも防災対策の見直しを行い、さまざまな施策を行っています。各地区でも自主的な防災活動が行われるなど、住民の防災意識は確実に高まっています。

地震発生時の約束事を確認
子どもを守るための避難訓練



生活安全部会長
あつかわ やすお
阿津川 保夫 さん
(春江町中筋西)

春江東部地区まちづくり協議会では、家庭や学校、地域の目が届きにくくなる放課後の時間帯に着目して訓練を行いました。

子どもたちだけでいる時に災害が発生したと想定し、各地区で指定されている一時避難場所へ避難。そこで保護者や地域の人と合流し、学校など市が指定する広域避難場所へ移動しました。

春江東部地区
まちづくり協議会

訓練をするにあたり、16地区すべてで一時的避難場所が正式に決められました。これは大きな成果です。そして、「みんながまず一時的避難場所に集合する。子どもたちだけでも正しい避難ができる」という確認ができたことも大きいと思います。こうした約束事があれば、大人も安心できますからね。



▲広域避難場所へ移動する区民

訓練を通して、区民全体の防災意識の高まりを感じます。しかし、防災は継続が大切です。これからも一時避難場所の周知などに努めて、正しい防災知識を身に付けてもらいたいと思います。

学校・公民館の耐震化



平成27年度末までに、市内すべての小中学校の耐震化工事を行います。公民館についても、計画的に耐震化を行っていきます。

防災無線・備蓄倉庫の整備

緊急放送するための防災無線と市内小学校全19校に備蓄倉庫を整備。避難所で活用できる防災資機材の充実も図ります。



津波ハザードマップ作成



津波が襲ってきた場合の浸水予測区域や津波避難場所を示した津波ハザードマップを作成し、全世帯に配布しました。

海抜表示板の設置

今年度内に三国町を中心に、市内の電柱や公共施設など約460カ所に海抜表示板を設置します。



心に残る「わすれない」 手紙に込めた思い光る 1月21日(火)

日本一短い手紙・第21回一筆啓上賞の入賞者発表会が、たかむく古城ホールで行われました。「わすれない」をテーマにした今回は、海外を含め41,237通の作品が寄せられました。丸岡南中学校の生徒が入賞作品を朗読すると、観客からは笑い声や共感の声が。自分の胸に今も残る「わすれない」

思いを重ねながら、作品に聞き入っていました。



▲入賞作品の講評をする審査員。左から池田理代子さん(劇画家・声楽家)、中山千夏さん(作家)、小室等さん(シンガーソングライター)、佐々木幹郎さん(詩人)、林正俊さん(住友グループ広報委員会事務局長)



▲作品を丁寧に朗読していく丸岡南中学校の生徒たち

学年を超えた真剣勝負 集中力と瞬発力を競う 1月19日(日)

第8回市小学生親善かるた大会が坂井老人福祉センターで行われ、市内の子ども会から20チーム74人が参加しました。向かい合えば学年は関係ない真剣勝負。札位置の暗記が始まると会場の空気はピンと張りつめます。子どもたちは、読み手の声に「パシッ」と音を立てて札を払ったのも束の間、集中力を切らさないようすぐに札に向き直っていました。



▲読み手の声に反射するように札を払う子どもたち

樋口陽大さん(長畝小3年)が大賞を受賞

「うまだ先生」へ
しゆくだいは、ちゃんとやっております。
持ってくるのをわすれないようにします。

いつもちゃんとやっておる宿題を続けて家に忘れてきてしまった時、先生に言われて感じた気持ちを素直に書いた手紙。大賞の連絡を受けた樋口さんは、「心が飛び出るくらいびっくり。いつもお世話になっている先生に宛てた手紙が賞に入りうれしい。すごく自信になった」と喜んでいました。



▲「27%こわくて、60%優しくて、13%おもしろい先生」「ユーモアがあり、発想が豊かな生徒」とお互いを信頼し合う樋口さん(右)と担任の馬田美紀先生



▲「体にいいから家でも作ってます」と話し、作りたての料理を試食する参加者

60代からの女磨き 食で体内年齢を下げよう 1月17日(金)

ずっと健康でいるためにはバランスのいい食事が一番ということで、健康食を学ぶ講座がいねすで開かれました。市内の女性約20人が参加し、黒豆すしや根菜の和風ポトフなど5品を調理しました。「おなじみの野菜も、組み合わせを変えると新鮮」「体の細胞が元気になる感じ」と参加者。「おいしい」笑顔プラスし、健康と美に磨きをかけていました。

言葉だけでは伝わらない 心と体でおもてなしを 12月14日(土)

リピーターを増やす極意を学んでもらおうと、市観光連盟が東尋坊観光交流センターで「おもてなし講座」を開きました。接客・マナー講師で丸岡文化財団嘱託職員の川崎葉子さんが、接客に必要な技術や心構えを講義。笑顔やお辞儀の仕方だけでなく、「相手の立場で考え、来てくれた人に感謝することが一番大切」と、心の重要性を教えていました。



▲より良い笑顔にするために、口角の上げ方などをアドバイスする川崎さん(左)

明るい未来へ大きな一歩 大人の門出に決意新た 1月12日(日)

新成人の門出を祝い、坂井市成人式「歩み～それぞれのステージへ～」をハートピア春江で開催しました。スーツやはかま、振り袖などの晴れ着に身を包んだ866人が参加。式典に臨んだ新成人たちは友人たちとの久しぶりの再会を喜びながら、大人としての決意を誓いました。坂本市長が「君たちの若さと元気が市の原動力になる」とエールを送ると、新成人を代表して成人式実行委員長の宮田一生さんら4人が、「自分の道を信じ、堂々と胸を張って歩み続けます」と決意を述べていました。



▲成人式実行委員の4人が代表して謝辞



▲色の付いた水で上空にアーチを掛ける消防団員たち



▶6メートルのはしごの上で、堂々とした演技を披露する越前三国高隊

災害の無い1年に 消防出初式で一致団結 1月11日(土)

平成26年嶺北消防組合出初式が、トリムパークかなづ(あわら市)で行われました。消防署や消防団、婦人防火クラブから1,136人が参加。永年勤続者や功労者など303人を表彰しました。屋外では、分列行進や越前三国高の演技、一斉放水を披露。あいくの雪模様の中、参加者らはきびきびとした動きで、今年1年の防火・防災に向け士気を高めました。



▲小・中・高校とそれぞれの「歩み」を表現した記念パネル。中学時代の写真が張り付けてあり、当時を懐かしむ姿も



▲久しぶりの再会を、喜ぶ新成人たち



▲案内に従い受け付けを済ませる晴れ着姿の女性たち



▲式典後には、越前がになど地元特産品などが当たる抽選会を開催。壇上でインタビューされる当選者



▲大人の自覚を持って、式典中真剣に話を聞く新成人たち



100回、200回と続けられるクロスパス。レシーブが乱れても全員でカバーし合うことで、つなぐ意識を高めていく子どもたち

つなぐバレーを支える 心でつながる仲間たち

チームワークを高め、バレーの基本として徹底的に練習を重ねるクロスパス。一人のミスを全員でカバーし合い、つなぐバレーで勝利を目指す。それが「九頭竜バレーボールスポーツ少年団」だ。同団は元々、三国町内の子ども会単位で作るバレーボールの分団チームが母体。「もつとうまくなりたい」という子どもたちの要望を受け、平成24年にスポーツ少年団として発足した。

チームを引っ張る吉田莉菜さん(三国西小5年)と木下菜奈美さん(同5年)は、それぞれサーブとレシーブが持ち味。「このチームに入っとうまくなれた。監督に言われたことをしっかり練習して、大会でも優勝を目指したい」と目標に向かって努力している。練習でもひととき大きな声で仲間を鼓舞し、キャプテンとして仲間たちをまとめている木下紗祐美さん(同5年)。「チームワーク

がいいので、もう少し元気が出れば言うことない。試合では最後まであきらめずに戦う。勝つてみんなと県大会に出場したい」とチームを強くするため全力を尽くす。チームを指揮するのは、バレーの指導経験が豊富な朝倉保雄さん。「スポ少になつたことで、地域外の人とも触れ合う機会が増える。たくましく、あいさつや感謝の言葉が言える子に育ってほしい」と常に子どもたちのことを考え、指導している。



▲常に攻める気持ち！変化する強烈なサーブを次々と打ち込む



▲元気よく声を出し、基礎練習にも集中する子どもたち



▲監督がサーブの打ち方を丁寧に指導

チームワークは馴れ合いではなく、本音を言い合い、ぶつかり、認め合う中で生まれる力。勝利を掴むためながら、仲間たちは今日もボールを拾いつなぎ続ける。



九頭竜バレーボールスポーツ少年団
メンバー 13人
代表 朝倉 保雄 さん(三国町上錦)
指導者 3人
コメント

みんなバレーが大好きで、仲が良いチームです。礼儀とあいさつを大切にしながら、毎週月・水・金・土曜日に活動しています。バレーに興味がある人は、一度見学に来てみませんか。

「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！
今回の内容は、2/15(土)～3/14(金)まで放送します。
お楽しみに！ ☎秘書広報課☎50-3012

男女共同参画の真髓を 落語で笑ってお勉強 1月22日(水)

男女共同参画推進講座「初笑い寄席 笑うあなたに福が来る」を、春江南公民館で開催しました。県内を中心に落語や人形劇を演じるはやおき亭貞九郎さんが、男女共同参画や少子高齢化などをテーマに漫談。市内外から集まった38人は、貞九郎さんの体験や方言、ユーモアを織り交ぜた話を通して、笑いながらより良い社会のあり方を学んでいました。



▲男女共同参画の本質を自作落語でわかりやすく伝えるはやおき亭貞九郎さん(右奥)



▲一番のお気に入り・サンショウウオの絵を「チェック」する連也さんたち

みんな、ボクの絵を見て！ ユニークな絵を東京で披露 1月27日(月) ～2月1日(土)

国内でも6例しかない重い病気と闘う菴連也さん(春江町・13歳)が、東京・南青山で個展を開きました。9歳のころから描きためた絵30点を展示。個展初日には連也さんも家族とともに会場を訪れ、作品を眺めたり来場者にあいさつしたりしました。会場を訪れた人たちは「とてもユニークで、見ていると楽しくなる」と話し、目を細めていました。



▲笑顔で話しながら給食を食べる親子。1月29日の献立は「ご飯」「ポトフ」「ささみの磯辺フライ」「三色和え」「牛乳」

おいしい・安全で笑顔 学校の給食を味わう 1月29日(水) ～31(金)

学校に通う子どもたちが日ごろ食べている給食を知ってもらおうと、学校給食試食会を春江坂井学校給食センターで行いました。コシヒカリや野菜など地元の食材を使い、健康と成長に必要な栄養バランスが考えられた献立。初日の試食会に参加した市民ら39人は、「野菜やお肉が柔らかく調理してあって食べやすい」と満足そうな表情で味わっていました。

「火遊びなんてしない」 園児が豆まいて鬼退治 1月27日(月)

子どもたちに防火の大切さを知ってもらおうと、幼年消防クラブ防火豆まきが春江北保育所で行われました。赤鬼・青鬼に扮した嶺北消防署の職員が、マッチやライターで落ち葉を燃やして火遊び。一緒に遊ぶように誘われた園児たちは、「火遊びなんてしない」と豆をまいて鬼を追い払い、二度と鬼が来ないように大きな声で「防火の誓い」を言いました。



▲勇気を振り絞って豆を投げつけ、火遊びをする鬼を追い払う園児たち

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ(☎http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/)からもご覧いただけます。ホームページでは「ホット」な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。

HotLine

市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。



平成 26 年度臨時職員を募集 申し込み締め切りは 2 月 28 日 (金)

●問い合わせ 各募集担当課

職種	資格	勤務	給与	勤務地	人員	募集担当課
保健師	保健師の資格 普通運転免許	1日7時間45分 週5日	月額 149,800円	健康増進課	2人	健康増進課 ☎50-3067
管理栄養士	管理栄養士の資格 普通運転免許	1日7時間45分 週5日	月額 149,800円	健康増進課	1人	健康増進課 ☎50-3067
用務員	普通運転免許	1日7時間15分・週5日 (夏期・冬期・学年末休業期間は4時間)	時給750円	市内小学校	1人	教育総務課 ☎50-3160
調理師	調理師の資格	1日7時間45分 週5日	月額 137,200円	丸岡地区小学校 三国学校給食センター 春江坂井学校給食センター	3人	学校教育課 ☎50-3161
調理師	調理師の資格	1日6時間45分 (7:30～15:15の間・ 休憩1時間含む) 週5日(夏期・冬期・学 年末休業期間を除く)	時給800円	春江坂井学校給食センター	3人	学校教育課 ☎50-3161
管理栄養士 (保健指導業務)	管理栄養士の資格 普通運転免許	週2日程度	時給1,000円	保険年金課	1人	保険年金課 ☎50-3031

採
用期間は平成26年4月1日から平成27年3月31日まで、申し込み締め切りは平成26年2月28日(金)です。詳しくは、募集担当課までお問い合わせください。

修学を応援します！ 26年度市奨学生を募集

●問い合わせ 教育総務課 ☎50-3160

家
対象
本人または保護者が市内在住で、26年4月に高等学校、特別支援学校高等部・高等専門学校・専修学校(高等課程)に進学予定で他の奨学金を受けていない人
募集人数 若干名

対
象
本人または保護者が市内在住で、26年4月に高等学校、特別支援学校高等部・高等専門学校・専修学校(高等課程)に進学予定で他の奨学金を受けていない人
募集人数 若干名



坂井市男女共同参画推進員を募集します

●問い合わせ まちづくり推進課 ☎50-3017

思
いやりのある心豊かな生き方・暮らし方を広めていく活動です。新たな発見や人とのつながりも生まれます。
募集人数 20人
※応募者多数の場合は書類選考
任期 2年
※26年4月1日～28年3月31日
応募資格
市内在住の18歳以上で男女共同参画推進に関心のある人
活動内容
毎月1回程度の定例会、研修や男女共同参画推進に関する啓発活動(出前講座)、イベントの企画・運営など
応募方法
応募用紙または任意の用紙に次の内容を記入し、3月7日

(金)必着でまちづくり推進課へ郵送・FAX・Eメール・持参のいずれかで応募してください。
①氏名 ②年齢 ③性別 ④住所 ⑤電話番号 ⑥応募の動機「男女共同参画に対する思いや考え」(400字以内) ⑦審議会等の委員歴
※応募用紙は、市ホームページからダウンロードできます
※応募者の個人情報、選考以外には使用しません
応募先・問い合わせ
まちづくり推進課(〒919-10592 坂井町下新庄1-1-1)
☎50-3017 ☎66-4837
✉machizukuri@city.fukui-sakai.jp
http://www.city.fukui-sakai.jp



100年経っても美しい坂井市を目指して 市内の河川「ごみ一掃統一行動」を！

●問い合わせ 環境推進課 ☎50-3032

今年もご参加ください！
市内河川ごみ一掃統一行動
～海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい～
とき **3月2日(日) 8:00～10:00**

ところ お住まいの近くを流れる河川
4河川(竹田川、兵庫川、磯部川、田島川)を中心に呼びかけを行っていますが、地域の身近な河川や、用排水路でも構いません。

分別・集積
もやせるごみ、もやせないごみ、処理困難物(バッテリー、ペンキ、タイヤなど)に分別してください。

集積方法
この日実施分のみ市が回収します。それ以外の日の実施分については、各区のごみ収集所に出してください。

川
「自分の家」だったから、あなたはそこにごみを捨てますか。
ごみは陸域から市では以前から、河口部や海岸への漂流・漂着ごみが問題になっています。水質や生態系への影響が懸念される中、そのごみの多くが私たちの住む陸域から河川を経て流れ着くものであることが環境省との合同調査で分かっています。
市民全員が同時に清掃活動することで、地域を流れる河川の清掃を市内一斉に行います。上流でごみを一つ拾えば、下流で拾うごみが一つ減ります。下流で拾うごみを一つ拾えば、一つ分だけ海がきれいになります。「次」への思いやりをきれいな川にのせて、自然豊かな水辺環境を将来につなげましょう。

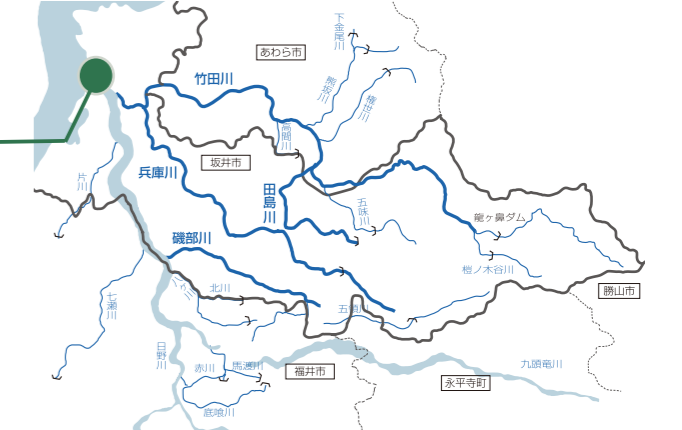


▲陸上でポイ捨てされたり、風で飛ばされたりしたごみが河川を流れて河口にたまった状態(九頭竜川河口部)

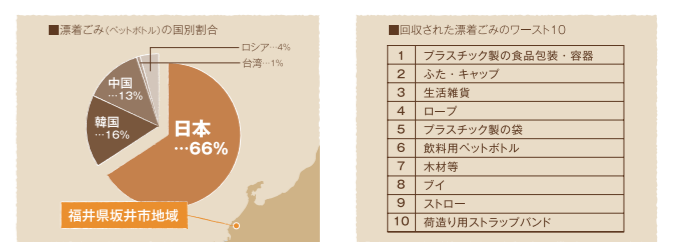


▲パチンコ台や便器など、あきらかに人の手で捨てられたものが地域の川に(市内の中小河川)

▼市内を流れるほとんどの河川は、九頭竜川に合流し、日本海へ流れ出ます



▼海岸に漂着するごみの約7割が日本製。海外からの漂着ごみもありますが、その多くは国内の河川を経て流れ着いているものであることが分かっています



市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。

インフルエンザにご注意を！

●問い合わせ 健康増進課☎50-3067

県内で、インフルエンザが流行しています。感染予防のため、しっかりと対策をしましょう。

【予防方法】

- ①石けんを使った手洗い、うがいをしましょう
- ②人ごみをさけ、外出の際にはマスクを着用しましょう
- ③適度な湿度を保つようにしましょう
- ④バランスのとれた食事と十分な睡眠をとりましょう



【もし、かかってしまったら】

- ①早めに医療機関を受診してください
- ②睡眠を十分にとり安静にし、お茶などで水分補給をしましょう
- ③周囲の人にうつさないようマスクを着用し、「咳エチケット」を心掛けましょう

大人の風しん予防接種
助成は3月末まで！

●問い合わせ 健康増進課☎50-3067

先 天性風しん症候群の発生と風しんの流行を防ぐために、ぜひ助成をご利用ください。

対象者
市内に住民登録がある平成2年4月1日以前に生まれた人で、次に該当する人
・今後妊娠を予定、または希望する女性
・「妊婦健診 初期検査」の風しん抗体が陰性と判定された妊婦の同居家族

接種期間
平成25年4月1日～
平成26年3月31日
※平成25年4月1日～6月

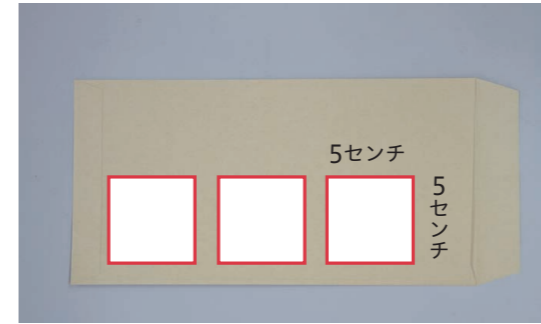
30日の間に自費で接種した人は、申請により助成額を償還します

助成額
・麻しん風しん混合ワクチン接種 5,000円
・風しんワクチン接種 3,000円
その他
接種する際は「接種券」が必要です。申請の仕方や必要書類など詳しくは、健康増進課にお問い合わせください。上記の期間に接種した人は、26年3月31日までに健康増進課で償還払いの手続きをしてください。



坂井市の共通封筒に
広告を掲載しませんか

●問い合わせ 総務課☎50-3010



市 が使用している封筒に掲載する有料広告を募集します。掲載条件や申込書の入手方法など詳しくは、市ホームページで確認するかお問い合わせください。

掲載規格
縦5センチ×横5センチ
墨1色
掲載料 10万円
作成枚数 10万枚(1年分)
申込方法
3月14日(金)17時まで(平日のみ)に、申込書と広告の電子データを総務課に直接持参してください。

原動機付自転車、軽自動車の廃車や変更は
4月1日までに手続きを！

●問い合わせ 課税課☎50-3023

種別	窓口
原動機付自転車(125cc以下)、ミニカー、小型特殊自動車 	課税課 または各総合支所市民課 (三国)☎82-8901 (丸岡)☎68-0802 (春江)☎51-9402
軽二輪車(126～250cc)、二輪の小型自動車(251cc～) 	福井運輸支局 (福井市西谷1-1402) ☎050-5540-2057
軽四輪車、軽三輪車 	軽自動車検査協会福井事務所 (福井市浅水町138-11-3) ☎38-1509

※年度末はととも込み合います。早めの手続きをお願いします

軽 自動車などを廃車したり、他人に譲ったり、または住所に変更があった場合には、手続きが必要です。手続きを忘れると、引き続き軽自動車税が課税されたり、納税通知書が変更前の住所に送られたりする可能性があります。

とがあります。登録事項に変更があった場合は、4月1日(火)までに窓口で手続きをしてください。手続きの種類によって必要なものが異なりますので、詳しくは各窓口にお問い合わせください。

●ご注意ください
軽自動車税は月割課税制度がありません。4月2日以降に廃車や名義変更をしても、1年分の税金がかかります。

●小型特殊自動車もナンバープレートが必要です
小型特殊自動車(トラック、コンバイン、フォークリフトなど)は、公道を走らない場合でも、所有していれば課税の対象になります。所有者は必ず市役所に申告し、ナンバープレートの交付を受け、車両に取り付けてください。

●手続きに必要なもの
・新規(中古)購入の場合
印鑑、販売証明書
・個人売買(譲渡)の場合
印鑑、譲渡証明書または廃車証明書
手続き場所・問い合わせ先 課税課
または各総合支所市民課
(三国)☎82-8901
(丸岡)☎68-0802
(春江)☎51-9402

高齢者の虐待が増えています！
一人で悩まずご相談ください

●問い合わせ 高齢福祉課(地域包括支援センター)☎50-2264

家 庭内や介護施設などでの高齢者虐待が表面化し、社会的な問題になっていきます。虐待が起こる背景には、人間関係や生活の問題などさまざまな要因があります。中でも、寝たきりや認知症の高齢者に対する「介護疲れ」など、介護負担に関する割合が高くなっています。

家族の理解や地域の協力、介護サービスなどをうまく利用し、虐待を防ぎましょう。

虐待を見かけた場合やおかしいと思った場合もご連絡ください。守秘義務により通報者の情報が漏れることはありませんので、ご安心ください。

このようなことが虐待になります
・身体的虐待
・身体的虐待
・殴る・つねる・蹴るなどの暴力を振るう、動けないように縛るなど
・介護や世話の放棄放任
・食事・入浴・排泄の世話

をしない、必要とする介護・医療サービスを使わせないなど
・心理的虐待
怒鳴る、悪口を言う、子ども扱いをする、無視して口をきかないなど
・性的虐待
同意のない性的接触、嫌がらせなど
・経済的虐待
必要なお金を渡さない、使わせない、高齢者の年金や預貯金を勝手に使うなど

地域包括支援センターに気軽に相談ください
地域で暮らす高齢者を、福祉や健康、医療などさまざまな面から包括的に支援するための総合窓口です。
保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーという専門職が常駐。チーム体制で高齢者やその家族が抱える不安を安心にかえるサポートをしています。

■地域包括支援センター
☎50-2264

アライグマ・ハクビシン にお困りならご相談を!

有害鳥獣による農作物の被害が増えていることから、市では申出者の協力を得て、檻による捕獲を行っています。お困りの人は、下記にご相談ください。

- 農林水産課 ☎50-3150
(三国)地域振興課 ☎82-8904
(丸岡)地域振興課 ☎68-0801
(春江)地域振興課 ☎51-9401

シカを集中捕獲！ 山に入るときは注意を

ニホンジカによる農林業被害などを防ぐため、県内の山林付近で県内各市町から依頼された有害捕獲隊が猟銃による捕獲を集中的に行います。

- 期 間 2月8日(土)～
3月9日(日)

◆遠くから見ても目立つ服装をしたり、ラジオや鈴など音の鳴るものを身につけましょう(有害捕獲隊はオレンジ色の服装をしています)
◆山中では、見通しのよい場所で行動しましょう
◆朝夕の薄暗い時間帯の活動は避けましょう

- 農林水産振興課 ☎20-0414

用途制限などを定める 計画案を縦覧できます

福井港丸岡インター連絡道路、福井森田丸岡線及び(主)三国春江線の沿線で市が特定用途制限地域を定める都市計画(案)を縦覧できます。

- 期 間 2月14日(金)～28日(金)
ところ 都市計画課
●都市計画課 ☎50-3050

子育て支援センター 移転のお知らせ

保育所や幼稚園などに入園する前の子どもとその保護者が利用できます。どうぞ気軽にお越しください。

- 時 間 9:00～12:00
13:00～15:00
閉所日 土・日曜日、祝日、年末年始

■子育て支援センター

三国(らっこルーム) 三国町楽円53-16-1 (いきいきサロンセンターあい愛) ☎81-6550
丸岡(ピュアHOTルーム) 丸岡町八ヶ郷21-7-1 (いきいきプラザ霞の郷) ☎67-4157
坂井(にこにこひろば) 坂井町上新庄28-5-3 ☎68-4188

※子育てに関する電話相談や面接は8時30分～17時15分

参加しませんか？ わいわe-ねっとさかい

坂井市が運営している地域SNS「わいわe-ねっとさかい」(以下「わいわe」)は「坂井市が大好き」な人のつながり。信頼できるネットワークなので安全安心です。あなたもわいわeに参加して、ブログ投稿などをきっかけに交流の場を広げてみませんか。

参加方法 わいわeは招待制です。参加したい人は、企画情報課にご連絡を。

- 講習会もやっています
開催日など詳しくは、わいわeサイトをご覧ください。
- 企画情報課 ☎50-3013
http://sakaisns.jp/

人権擁護委員に ご相談ください

1月1日付けで人権擁護委員の委嘱がありました。(敬称略)

氏 名	山本 達雄
住 所	三国町三国東2-3-15

差別や虐待など人権問題でお困りの人は、毎月開催の相談日を利用してご相談ください。

- 社会福祉課 ☎50-3041

引越しのシーズンです 水道の手続きはお早めに

引越しシーズンとなる3～4月は、水道の開・閉栓の申し込みが大変多くなります。引越しの日が決まったら、早めに下記に連絡してください。その際、納付書を発送するため転出先を確認させていただきまますのでご了承ください。

※開・閉栓作業に立ち会う必要はありません

- 受付時間 月～金曜日 8:30～17:15
※土・日曜日、祝日は除く
- 総務経理課 ☎51-9100

B型肝炎給付金 まずは無料電話相談で

幼いころの集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに感染したと認められた人に、国から給付金が支給されます。平成29年1月までの手続きが必要です。

B型肝炎訴訟北陸弁護団では、給付金請求に関する無料電話相談を行っています。気軽にお問い合わせください。

- 受付時間 9:00～12:00
13:00～17:15
- B型肝炎北陸弁護団
(泉法律事務所内) ☎30-1371

自動車の検査・登録 手続きはお早めに

自動車の継続検査、名義・住所変更などの手続きはお済みですか。2～3月は窓口が大変混雑します。早めの手続きをお願いします。

- 中部運輸局福井運輸支局
(登録) ☎050-5540-2057
※自動音声案内
(検査) ☎34-1603

「もしも」のために 普通救急講習を

AED(自動対外式除細動器)の使い方や心配蘇生法、止血法が無料で受講できます。

- と き 2月23日(日)
9:00～12:00
- ところ 嶺北丸岡消防署
- 定 員 30人
- 申込方法 開催日の2日前までに
下記へ
- 嶺北丸岡消防署
☎66-0119 ☎67-0757

がんばりました！ ぼうさい探検隊マップコン

一般社団法人日本損害保険協会が主催する「第10回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で、全国47都道府県449団体から応募のあった2,191作品の中から、次の皆さんが佳作に選ばれました。

- 佳作
・春江小学校
「春江小5年1組防災探検隊」
「春江小5年3組防災探検隊」
- ・大関小学校
「どすこい大関」
- ・鳴鹿小学校
「鳴鹿小5年3班」
- ・加戸小学校
「加戸小1班」
「加戸小3班」

※作品は嶺北消防本部ホームページでご覧いただけます

- 嶺北消防本部
☎51-8435

リサイクル recycle information

ゆずります	哺乳瓶消毒器(電子レンジ用)、ハムスターのゲージ、応接セットのイス5客、シングルベッド
ゆずってください	幼児向け音の出るおもちゃ、家庭用小型トラクター、7歳児用振袖、75cmのコツが入る段ボール箱、灯油のファンヒーター(8畳)、ノートパソコン、小さめのけやきのタンス、春江小学校か春江西小学校の制服(男女、150cm前後)、浴槽用介護イス(吸盤付き)、長いソファ、介護用車イス、三国西小学校の制服や体操服、ロックミシン、扇風機、電子ピアノかオルガン、坂井市・あわら市・福井市のゼンリン住宅地図、平成25年9月2日・3日の福井新聞、大人用自転車

- 申込方法 電話で下記へ
- ※無償の品物のみ取り扱います
- ※掲載期間は3カ月(自動継続はしません)
- ※掲載品は掲載者が保管
- 市民生活課 ☎50-3030


食卓に
もう一品！

食生活改善推進員の
かんたん料理レシピ

作り方

①ほうれん草は7～8cmくらいに切る。
②しめじは小房に分ける。ニンジンも細切りにする。
③ベーコンを2cm幅に切り、フライパンで炒めて皿に取り出しておく。
④同じフライパンでニンジンとほうれん草としめじを加えてさらに炒める。
⑤しんなりしてきたら、③を加え、塩麴を入れて味を調える。

ほうれん草の塩麴いため



春江地区食生活改善推進委員

栄養成分 / 1人分

エネルギー	126kcal
タンパク質	5.3g
脂質	10g
塩分	0.8g

材料 / 4人分

ほうれん草	1把(200g)
ベーコン	100g
しめじ	1パック(100g)
ニンジン	40g
塩麴	大さじ1

毎日の元気は、バランスのいい食事が基本です。そして、そのために「野菜」の力はとても大切です。大人が一日に必要なとされる野菜の摂取量は350gといわれています。これは、日本人が食べている野菜平均量に、もう一皿加えた量。毎日の健康のために、野菜をプラス日一皿を意識してみませんか？

●健康増進課 ☎50-3067

募集
invite information

空き家情報を登録しませんか

空き家の有効活用と定住促進を図るため、売却・賃貸を考えている所有者から「空き家情報」を募集しています。

いただいた情報は、市のホームページ「坂井市空き家情報バンク」に登録し、広く情報発信を行います。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

坂井市 空き家

市内に危険な状態にあると思われる空き家がある場合には、下記にご連絡ください。

☎都市計画課 ☎50-3052

交通指導員として活動しませんか

市の交通指導員を募集します。悲惨な交通事故をなくすために、活躍してみませんか。

詳しくは、下記にお問い合わせください。

対象 市内在住の62歳以下の人
内容 交通安全指導・啓発活動など(月2～3回程度)

人数 若干名

報酬等 報酬および出動手当

応募締切 3月末日

☎安全対策課 ☎50-3525

開催
event information

市民に開かれた議会へ報告会で意見交換を

議員が皆さんの地域で、議会の活動状況を直接報告します。また、議会活動や市政について自由に情報・意見交換できます。住所に関係なく、どの会場でも参加できます。市民の皆さんの意見をお聞かせください。

とき	会場
2月20日(木) 19:00～	加戸公民館
	丸岡公民館
2月21日(金) 19:00～	春江東公民館
	大関公民館

☎議会事務局 ☎50-3001

在宅ケアの現状は？市民集会を開きます

老いても住み慣れたところで安心して暮らしていける坂井地区を築くため、「在宅ケア」の現状や課題について情報を共有する市民集会を開催します。

坂井地区医師会や広域連合が取り組む医療と介護の連携事業、住民同士によるコミュニティーケアなどについて紹介します。

とき 3月9日(日)13:30～
ところ たかむく古城ホール(高椋公民館4F)

内容・在宅ケアのまちづくりのキセキ(東京大学高齢社会総合研究機構)
・ここまで進んだ坂井地区の在宅医療
・講演「住民レベルのコミュニティーケアの実践」(すずの会 鈴木恵子氏)

☎坂井地区広域連合介護保険課 ☎91-3309

一人で悩まないで！こころの健康相談会

3月は自殺対策強化月間です。市では、臨床心理士による個別相談会を開きます。日常のストレスからくる悩みや不安は誰もが経験すること。誰かに相談して気持ちが楽になることもあります。個人情報や相談内容は硬くお守りしますので、気軽にご相談ください。

とき	会場
3月7日(金) 13:30～16:00	坂井健康センター
3月17日(月) 9:00～11:30	春江保健センター
3月28日(金) 9:00～11:30	丸岡保健センター

※前日までに予約が必要です(1人30分程度)

相談料 無料

☎健康増進課 ☎50-3067

慢性腎臓病(CKD)の予防法を学ぼう

慢性腎臓病(CKD)は、成人の約8人に1人いると推計され、新たな国民病といわれています。CKDに関する知識や予防法について学びませんか。

内容 ※受付は9:30～

3月2日(日)10:00～11:15 講義：腎臓をいたわる生活のポイントについて(福井県民健康センター 所長 松田一夫医師)
3月15日(土)10:00～11:30 講義と試食：CKDを予防する食事について(市管理栄養士)

ところ 坂井健康センター
参加費 無料(定員30人)
申込方法 2月25日(火)までに電話で下記へ

☎健康増進課 ☎50-3067

楽しいよ！室内なんちゃって雪合戦

1チーム5人。中学生以上は男女混合で参加してください。

とき 3月9日(日)

①小学生 9:00～
②中学生以上 13:00～

ところ 丸岡体育館
内容 スポンジボールを雪玉に見立てた雪合戦

持ち物 動ける服装、内履き

参加費 ①1チーム1,000円
②1チーム2,000円

申込方法 平日の9～17時に下記へ申し込み(各先着12チーム)

☎丸岡体育館 ☎66-8920

リフレッシュ体操&脱メタボ教室フェア

とき 3月16日(日)

①10:00～11:45
②13:00～15:00

ところ 坂井体育館
内容 ①タオルで健康体操 お孫さんと元気体操
②脱メタボ教室、コアトレーニング

対象 中学生以上

参加費 半日300円、1日500円

申込方法 平日の9～17時に下記へ

☎坂井体育館 ☎68-0123

お越しく下さい 暮らしなんでも相談

日常生活の困りごとについて、無料で相談できます。弁護士や金融の専門家が対応します。

とき 3月2日(日)
9:00～12:00

ところ 高椋公民館
☎ライフサポートセンター福井 ☎0120-629-417

悩みを相談してこころを元気に！

とき 3月8日(土)

ところ いきいきプラザ霞の郷
参加費 無料

■こころを元気にする講座

時間 13:30～16:00

対象 精神障害を抱える本人・家族、精神保健福祉関係職員

内容・講演 本人の思い・家族の思い～お互いを理解するために～(講師)心理相談室アシスト・臨床心理士 岡本克己氏・グループワーク

■悩みごと総合相談会

時間 13:00～17:00

対象 県民ならどなたでも

内容 精神科医師、弁護士、臨床心理士、就労支援相談員、精神保健福祉士、女性相談員による個別相談

申込方法 2月28日(金)までに、電話で下記へ申し込み

☎坂井健康福祉センター ☎73-0609

職場での悩みごと無料相談会を開きます

解雇・賃金など労使関係でお悩みはありませんか。労働問題の専門家が相談に応じます。労働者、使用者、ご家族などなたも気軽にお越しく下さい。秘密厳守・予約不要です。

とき 3月15日(土)
13:30～16:30

ところ アオッサ6階研修室(福井市手寄1-4-1)

☎福井県労働委員会 ☎20-0597

お知らせ
information

『消費者カクイズ』抽選でエコグッズを進呈！

■消費者カクイズ(35)■

Q. 各契約とクーリング・オフできる期間の組み合わせが間違っているものを1つ選んでください。

- ア)訪問販売での印鑑の購入契約 = 20日間
- イ)ハイハイ商法での羽毛布団セットの購入契約 = 8日間
- ウ)電話勧誘による健康食品の購入契約 = 8日間
- エ)内職商法でのミシン購入契約 = 20日間

応募方法 はがき、メール、FAXに①答え②郵便番号・住所③氏名④年齢を書いて下記へ応募

応募先 市民生活課クイズ係 千919-0592
坂井町下新庄1-1
FAX68-0324



メールはこちら
応募締切 3月7日(金)
☎市民生活課 ☎50-3030
※1月号の答え…(エ)

坂井町に「夢咲の街」新しい行政区が誕生

坂井町東十郷地区に、新たに行政区が誕生しました。

行政区名 夢咲の街

創設日 平成26年1月1日

☎坂井総合支所地域振興課 ☎50-3060

12月21日から1月20日までの届け出分（敬称略）
名前は全て人名漢字および常用漢字で表記しています。

The bulletin board of all

市民の活動を応援するコーナーです。



名前	年齢	行政区	名前	年齢	行政区
三国町／			たぐち		
杉本 あい子	97	新宿一丁目	たかし	81	松川
上木 喜三郎	84	南末広	たけじ	83	上石城戸
大村 一郎	87	汐見	たけし	84	山久保
金田 政雄	90	運動公園三丁目	ちか子	91	上長畝
林 實	70	岩崎	野波	87	霞ヶ丘1区
鷺田 千壽子	95	大門	照子	85	山崎三ヶ
竹林 まさ子	93	汐見	白川 ヒメ子	84	南横地3区
林 活志	86	下野	高嶋 繁	89	里竹田
井上 三智子	76	栄町	志田 美代子	84	西瓜屋1の3
川元 栄子	92	川崎	山縣 幸子	84	八ヶ郷1区
十郎 きみ子	84	陣ヶ岡	山本 博次	87	磯部新保1区
小澤 みよ子	98	黒目	三波 寅次	86	中谷
木下 重子	94	加戸西	牧田 文二	86	
嶋 かずえ	97	下西	水野 ふみ子	98	
横田 善助	85	野中	春江町／		
中林 信子	89	山岸	小林 未治	87	本堂
高川 スエ子	81	米ヶ脇	坂本 光子	81	境元町
古木 一子	82	新保	杉本 すみ子	92	辻
藤野 コサト	89	安島	黒川 トキヲ	97	石塚
村上 ひな子	79	米納津	小林 三夫	98	金剛寺
丸岡町／			宮前 数子	70	為国中区
谷川 藤枝	86	愛宕	高山 幸枝	88	中筋
福澤 けさみ	55	山竹田	笹原 捨吉	76	藤鷲塚
川原 元信	86	為安	寺尾 政則	60	寄安
大脇 孝一	89	舟寄2区	文珠 静枝	96	春日野
谷口 元治	92	東組	山下 賢治	66	中筋
山本 ふさを	93	羽崎	坂井町／		
清水 三郎	93	西瓜屋1の2	岡倉 キヨ子	98	新庄
藤田 一治	83	磯部島	竹澤 スサエ	82	五本
寺本 貞一	79	松川	柳原 博志	83	上新庄
鈴木 ふゆ子	95	北横地1区	増田 登	72	けやき野
花房 英一	77	楽間	中山 清志	87	長屋
			白崎 勇子	80	東荒井
			浅井 ウメ子	85	上新庄

人口	93,956人(-54, -333)
男	45,450人(-31, -189)
女	48,506人(-23, -144)
世帯数	30,396戸(-41, +178)

1月1日現在
※()内は前月比、前年比

市の
すがた

こちらは有料広告欄です

●総合ビル管理 ●警備保障 ●セレモニ－

株式会社 法美社

福井市里別所町505 ☎0776-27-0001

家族葬の家 新田塚 春 江 (株)静光社

福井市新田塚2丁目34-35 ☎0776-30-6100

大切にしたいのは「ソートフル」(思いやり)です。

当社運営管理ホール

ソートフル 春江 春江町随応寺24-25 ☎0776-58-0444

ソートフル 丸岡 丸岡町一本田中31-5-1 ☎0776-66-4441

ソートフル 芦原 あわら市二面34-13-1 ☎0776-77-1444

ソートフル 金津 あわら市自由が丘1-2-14 ☎0776-73-4444

ソートフル 三国 三国町宿48-12-1 ☎0776-81-8210

親子ふれあいまつり
～わくわくクリーム～

いろんな体験をしたり、ゲームに挑戦したり、家族みんなで楽しく遊べます。ぜひお越しください。

とき 2月23日(日)
10:00～15:00

対象 未就学児～小学校中学年までの児童と保護者

- ・お買いものゲーム
- ・辛みちゃん、城丸くんと遊ぼう
- ・各種クラフト体験(有料)
- ・寄せ植え体験(500円・10組)
- ・「雪だるま」の大福を作って食べよう(100円)
- ・チャレンジランキング
- ・展示コーナー
- ・軽食販売

問 ゆりの里公園 ☎58-0100

「地域の縁結びさん」になりませんか

若者の出会いや結婚を応援しませんか。県では、一定の条件を満たし地域でボランティアとして縁結び活動を行う人を「地域の縁結びさん」として登録し、活動を支援しています。

「地域の縁結びさん」に登録いただくと、

- ①名刺と登録証が交付されます
- ②婚活応援ポータルサイト「ふくい婚活カフェ」で紹介されます
- ③地域の縁結びさん同士の交流会に参加できます

問 県子ども家庭課 ☎20-0341

認知症についての
研修会を行います

認知症に関心のある人はぜひ。参加は無料です。

ところ 県立すこやかシルバー病院 2階会議室

■認知症の基礎知識と介護のポイント

とき 3月7日(金)13:00～13:30
～講義(症状と治療、介護のポイント)

■認知症に関する制度と相談窓口

とき 3月14日(金)13:30～講義(介護保険と相談窓口の活用法)

■認知症を予防しよう

とき 3月28日(金)13:30～講義(予防の基礎知識など)

申し込みは下記へ。

問 県立すこやかシルバー病院 (福井市島寺町93-6) ☎98-2700

入・進学を機に
柔道を始めてみませんか

「友だちをたくさん作りたい」「心も体も強くなりたい」「礼儀正しくなりたい」という子どもたち大歓迎です。見学や体験は、練習日ならいつでもOKです。気軽にお越しください。

とき 毎週火・木曜日 18:30～20:00
土曜日 18:00～20:00

ところ 坂井武道館

対象 5歳～小学6年生

問 八木 ☎090-2125-6089

子ども連れて
ヨガしましょう

家事や育児で固まった体を、お子さんと一緒にヨガでほぐしましょう。子育て中のお母さんやおばあちゃんが対象です。お子さんを連れて、ぜひご参加ください。

とき 3月27日までの毎週木曜日 10:00～11:00

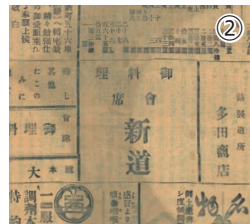
ところ 高椋公民館 3階和室

参加費 1,000円

問 松崎 ☎090-1636-6576

初心者のために
パソコン講座

- ①ワード基礎
基本操作や文字入力、簡単な文書作成を行います。
3月5日(水)・6日(木)・11日(火)・13日(木)
13:00～16:00
 - ②エクセル入門
基本操作とデータ、数式の入力、表の作成などを学びます。
3月19日(水)・20日(木)・25日(火)・27日(木)
13:00～16:00
 - ③高齢者にやさしいパソコン教室
パソコンの基礎知識、メール、デジカメの使い方を学びます。
毎週月・水・金曜日 13:00～16:00
毎週火・木曜日 18:30～20:30
- ところ 高椋公民館
- 受講料 ① 4,500円
② 4,500円
③ 10,000円
- 申込方法 講座開始3日前までに電話かFAXで下記へ
- 問 NPO法人いきいきITクラブ 道見 ☎66-0876 ☎67-8385



①新道 繁 (1907～1981) 三国町出身の洋画家。光風会理事、日展理事、日本芸術院会員

②生家の新聞広告「御料理 会席 新道」(新聞「みくに」明治40年11月25日) ③「松」1960 これら「松」の連作で日本芸術院賞を受賞 ④「三国町(金鳳寺より望む風景)1976 生家近くの金鳳寺には新道繁の墓がある。境内からは三国湊が一望できる

「松」に描いた人生の深淵 三国へ郷愁を絵筆に込め

画家・新道繁は、明治40年(1907)三国町

平木(現・市商工会三国支所がある場所)に生まれ、生家は「新道」という名の料亭を営んでいました。10歳のときに一家を移して東京に居を移しました。

十代半ばに絵を描き始めた新道繁は、18歳で「帝展」に入選。早くから画家としての頭角をあらわしました。それから74歳で亡くなるまで、日本の洋画界で活躍し続けています。

新道繁は「松の画家」とも称されますが、そのきっかけは昭和31年(1956)のヨーロッパ長期旅行にありました。南仏ニースで松を見た新道繁は、日本の松との違いに驚きます。西洋の松は、日本のものより葉がやわらかくぶよぶよとして、松ぼっくりも数段大きいそうです。

帰国後、本格的に日本の松を描き始め、「松」の連作により日本芸術院賞を受

賞。その後、日本芸術院会員となりました。

新藤繁の描いた松は、どのような松だったのでしょうか。

「松の亭々とした感じが好きだ」という新道繁の言葉があります。描かれたのは、決して枝ぶりの見事な松ではありません。ヒヨロヒヨロと伸びた東尋坊や安島など三国の海岸にあるような松です。普通は画題とされない、誰の目にも止まらない松かもしれません。しかし、細いながらも強い季節風に耐え、悠々と自由に生えている松なのです。

新藤繁は、しばしば郷里の三国に足を運んでいました。

三国というところは「暮らしの中に不思議な気風や伝統を残している」(新道繁『わたしの三国』)のだといひます。幼少期を過ごした三国に、新道繁は日本の原風景を見、「日本人の故郷にしたい」との思いを馳せていたのです。

純な旅



「楽しい」というのも必要だし大事だけど、ちゃんと相手に残る分かり合えるそんな言葉を紡いでいけたらいいな。

(丸岡町山口)

編集後記

▼表紙の撮影を高校時代の友人に依頼。撮影自体はすぐに快諾してくれたものの、「撮影日は今日。今から!」と言ったら、急過ぎると笑われました。高校の時から変わってないね、と言われてしまいました。(尚)

▼そうなんです。「撮影は今から!」の前に「純」さん、持ち出し品が揃いません。どうしよう」と騒ぐ(尚)。消防署の協力で何とか一式揃え、撮影に伺いました。でも実際に使ったのは、このご家庭に備えてあったもの。防災が意識から行動になっているの感じ嬉しかった撮影でした。(純)